

(別紙)

要 求 証

此の夜舟等船夫一同協議の決可成致す件左の如し
八月五日付全船の月金支給日の云致し思ひ先月実行の例あり今後當夜舟
計成し難く實は之の困却仕る故に先月全方中田仕上御借し被下可くも又
答被下取右一同成致仕る次第に有上候也但し吾々要船に應じ被下此は相當の年
被下取右心得書御通知有上迄は吾等船夫仕事一切ヤス右御承知被下可く以上

増山 船夫一同 水村 印

増山田濱店御中

5.9.15
1687

勞組第三一四番

昭和五年九月十二日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏
社會局長 眞官 殿
茨城神奈川千葉各府縣知事 殿

増山田濱店、勞働争議ニ關スル件 (第二紙)

要旨の勞資特異ノ行動ナシ

但し二回ニ亘り折衝シタルモ双方態度強硬ナリ